



計測事業



5Gがもたらすイノベーションに 最前線で貢献する

～ ネットワークの進化を支え、
5Gの利活用分野で新たな
成長ドライバーを創出 ～

徳家 努

執行役員 計測事業総括
計測事業本部長

1980年代に通信のデジタル化が始まって以来、携帯電話加入者の爆発的な増加、インターネットの急速な発展、スマートフォンが牽引するモバイルブロードバンドの普及などが、私たちの生活やビジネスに大きな変化をもたらしました。そして今、高度IoT社会の通信基盤として期待される5Gが実用化のフェーズを迎えています。

アンリツの計測事業は、通信技術の確立や普及に不可欠なマザーツールである測定器およびテストシステムをグローバルな市場に向けて提供しています。ネットワークから端末まで、5Gの商用化と発展を支えるとともに、さまざまな産業分野における5Gを活用した新たなユースケース創出と社会の課題解決に貢献してまいります。

SWOT分析

<ul style="list-style-type: none"> 光、伝送、無線、プロトコルにわたる通信・測定技術と製品群 グローバルな開発・販売・サポートネットワーク 業界をリードするお客さまや取引先さまとのパートナーシップ 	<ul style="list-style-type: none"> 5G/IoT 利活用市場の開拓が途上 通信市場における依存度の高さ
<ul style="list-style-type: none"> 5Gの商用化に向けた開発・製造・建設保守向け設備需要の増加 データトラフィックの増大によるネットワーク高速化や増強 IoT応用活発化に伴う従来の非通信産業分野における対象市場拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 貿易と地政を巡る緊張の増大 急激な円高によるコスト競争力の低下 事業対象地域の経済減速 特定顧客の盛衰

S	W
強み	弱み
O	T
機会	脅威

事業領域

アンリツは120年を超える歴史の中で、情報通信の未来を切り拓くパイオニアとしてのDNAを持ち続け、通信技術の進化と発展をその最前線で支えてきました。計測事業は、グローバル市場をフィールドとして、通信用設備・機器およびネットワークの機能・性能検証と品質保証に不可欠な測定器群およびテストシステムを幅広く提供しています。

- スマートフォンに代表されるモバイル通信市場で、チップセット開発、デバイス開発、コンFORMANCE試験、製造検査に至る全フェーズでテストソリューションを提供。
- クラウドコンピューティングの普及により高速化が進むネットワークインターフェースやバスインターフェースの性能評価用測定器および光モジュール検査用測定器を提供。
- インターネットを支えるIPネットワークの開通試験や保守・保全用測定器、およびモバイル通信用基地局の製造や建設保守用測定器を提供。また、海底から家庭まで、世界中に張り巡らされている光ファイバーケーブルの建設・保守に必要な測定器群を提供。
- コネクテッドカーの普及および家電や産業用設備のIoT化により求められるコネクティビティー品質の評価や保証に必要なとされる測定器およびテストシステムの提供。
- 通信事業者のネットワーク稼働状況を可視化することで、ネットワークの障害分析やカスタマーエクスペリエンスの向上に貢献するモニタリングソリューションを提供。

計測事業の領域



モバイル コミュニケーション
2G, 3G, 4G & 5G



オートモーティブ
IoTコネクティビティ



クラウド コンピューティング
ハイ スピード バス



ネットワーク 建設・保守



RF & micro/mmWave
デバイス/コンポーネント



通信事業者
ネットワークモニタリング

市場環境と事業機会

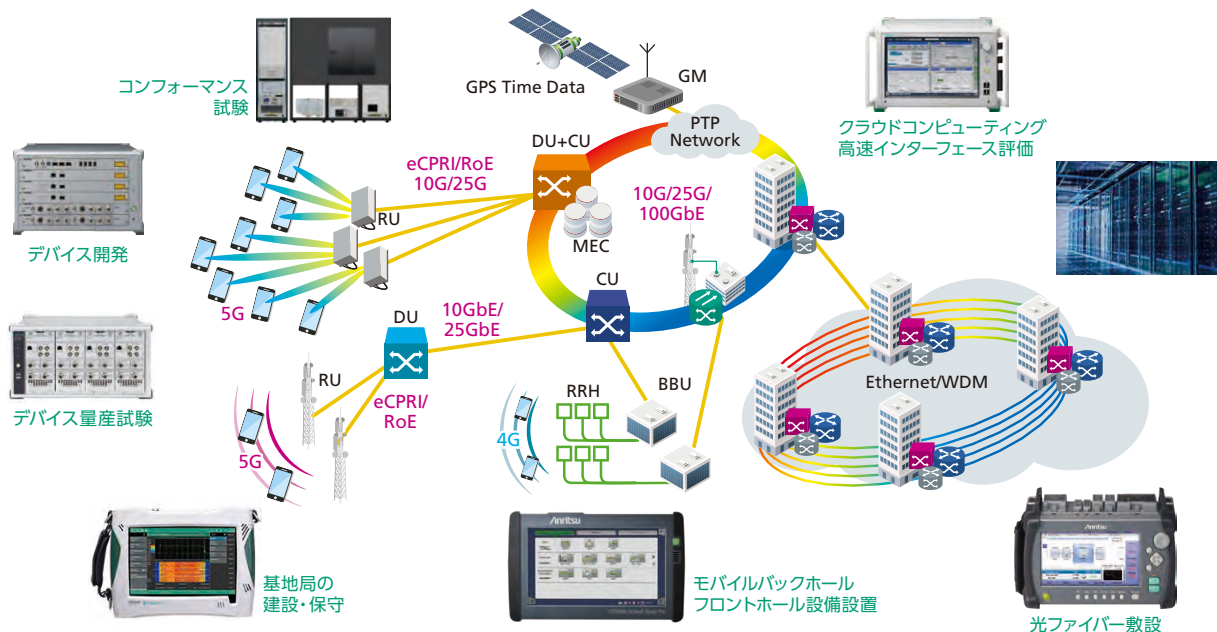
■ 5Gの商用サービスが始動

2019年、多様な産業でIoTの通信基盤として期待される5Gの導入が開始されます。通信規格の標準化以降、既に試験需要が顕在化しているチップセット開発に加え、今後は、商用端末の開発やコンFORMANCE試験、事業者受け入れ試験、さらには量産ラインにおける校正検査において、5Gのビジネス機会が拡大します。また、5Gの導入には、高速低遅延を実現する通信設備の更新や高周波に対応する基地局設備の導入など、ネットワーク全体にわたり、建設・保守で必要となる測定器の需要が拡大すると予想されます。

■ データセンターの大規模化とネットワークの進化

SNSや動画共有などのサービスによりデータトラフィックは増加の一途を辿っており、今後は、AR/VRアプリケーションやAI活用などが、その傾向を一層強めることが予想されます。そのような状況がデータセンターの大規模化やネットワークのさらなる高速化を促進させており、既に普及している100Gイーサネット設備の導入増加が見込まれています。2019年にはPAM4と呼ばれる新しい光トランシーバー技術を使った400Gイーサネットの導入が開始されようとしており、新たな事業機会の拡大が期待されます。

5Gネットワークを支えるアンリツのソリューション



IoTユースケースの増加

モノやサービスがネットワークに接続されるIoTの市場拡大は、アンリツにとって新たな成長機会をもたらしています。モバイル市場で培ったテスト技術はコネクテッドカーの検証にも生かされており、市場の拡大とともに需要が増加しています。アンリツは、4G、5G、ワイヤレスLAN、Bluetooth、Cellular IoTなど、IoTの用途によって必要とされる多種のコネクティブティ品質の評価ソリューションを有しており、さまざまな産業分野への提案を進めています。

成長戦略

GLP2020基本方針

中期経営計画GLP2020では、(1) 5G, LTE-Advanced, (2) IoT/Automotive, Connectivity, (3) IP Data Traffic, Cloud Serviceの3つを、利益ある持続的成長を実現する成長ドライバーとして位置付けています。その中でも5Gは成長戦略の中核を担う事業です。グローバル市場におけるリーディングカンパニーの地位を確かなものとするために、ソリューションの拡充、効率的な開発体制の確立、サポート体制の強化に取り組んでいます。

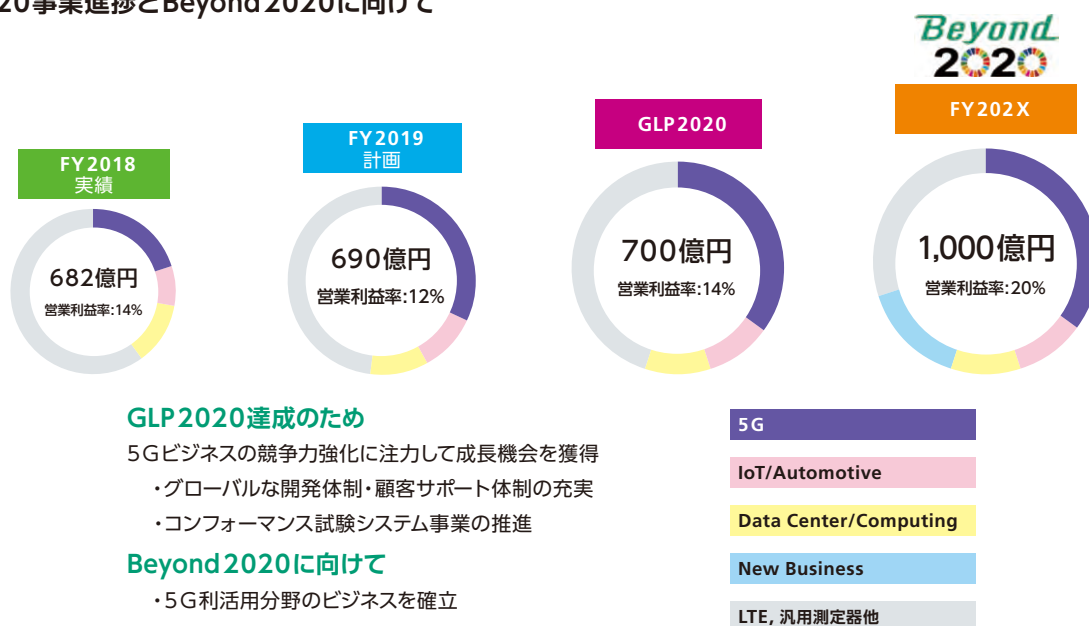
GLP2020初年度の成果

GLP2020の初年度にあたる2018年度は、5Gの初期開発需要の立ち上がりを捉えたことで、期初計画の売上高600億円、営業利益率6%を大幅に上回る、売上高682億円、営業利益率14%となり、GLP2020の達成に向けて順調な立ち上がりとなりました。また、開発から製造、保守にいたる5G製品のラインナップを拡充し、5G商用化に向け準備を整えました。LTEは想定通り市場が縮小したものの、効果を見極めた開発投資により顧客基盤を維持し、収益性を改善しました。Automotive, IoT関連のビジネスは長期にわたって漸進的に成長する事業として、新規顧客の開拓に継続的に取り組んでいます。2018年は、欧州におけるeCallの義務化や、各国事業者の相次ぐCellular IoTサービスの開始など、IoT活用拡大に向けた動向がより顕著になりました。

GLP2020の目標達成に向けて

GLP2020の目標である売上高700億円、営業利益率14%達成のため、2019年度は成長分野への軸足シフトを加速し、顧客基盤拡大に取り組みます。5G商用化前倒しの動きが活発化していることで、4Gから5Gへの試験需要が一層進むと予想されます。5G商用化に向けて需要拡大

GLP2020事業進捗とBeyond2020に向けて



が期待できるコンフォーマンス試験システムの競争力強化に取り組む他、多くの事業者が5Gを開始することによって増加する試験要求に応えるため、戦略的投資を積極的に行います。また、400Gイーサネットなど、クラウドコンピューティングを軸として進化するネットワーク設備の開発や、光通信モジュールの製造需要に向けた製品強化に取り組めます。

Beyond2020に向けて

5Gでは、高精細映像配信やVR/ARの活用など、超高速大容量通信を生かした新たなサービスの提供が検討されている他、超低遅延や多数同時接続といった新たな特徴により、自動車はもとより、工業、農業、建設、医療など、さまざまな産業分野におけるユースケースの創出が期待されており、実証実験なども活発に行われています。アンリツのコンピテンシーである「つなげる」技術と「はかる」技術を活かし、各分野でプレゼンスの高い企業との協業や、M&Aによるポートフォリオ強化の選択肢も視野に入れ、これまでのモバイルビジネスの延長線ではない新しい産業分野で、5G利活用分野のビジネスを確立していきます。さらなる成長を支える仕組み作りにも取り組んでいます。具体的には、グローバルに展開している開発拠点のマネジメント強化、先端顧客との協力体制強化、販売チャネル整備等を進めて

います。また、収益性改善の面においても、開発投資案件の収益性評価徹底や、原価抑制を考慮した製品設計や改善活動を推進していきます。これらの取組で確実に成果を出し、計測事業のBeyond2020の目標である売上高1,000億円、営業利益率20%を目指します。

社会へのソリューション(SDGsの取り組み)

あらゆるものがつながるIoTの活用は、SDGsが掲げるサステナビリティ目標の実現に向けてさまざまな社会課題の解決に繋がると期待されています。安全・安心で快適なIoT社会の建設には、強靱なネットワークインフラの整備が不可欠です。計測事業は、そのソリューションを通して、通信ネットワークの開発、製造、建設・保守、運用にいたるさまざまな局面で、通信品質の確保と維持に貢献しています。また、WLAN、Bluetooth、Cellular IoT、4G、5Gなどのワイヤレス通信技術やIP通信、プロトコル試験技術などを活かした測定器やテストシステムは、スマートフォンのみならず、自動車、家電、建設機械、スマートメーター、センシングといった分野においても先進的な企業における導入が開始されています。貢献できるフィールドはさらに広がっていくと考えており、今後も、持続可能な社会の建設につながるさまざまな産業におけるイノベーションの促進に貢献していきます。